

2003/04/14

宇治川 塔の島地区

改修計画 説明資料

宇治川 塔の島地区



第1稿での記述

○塔の島地区において

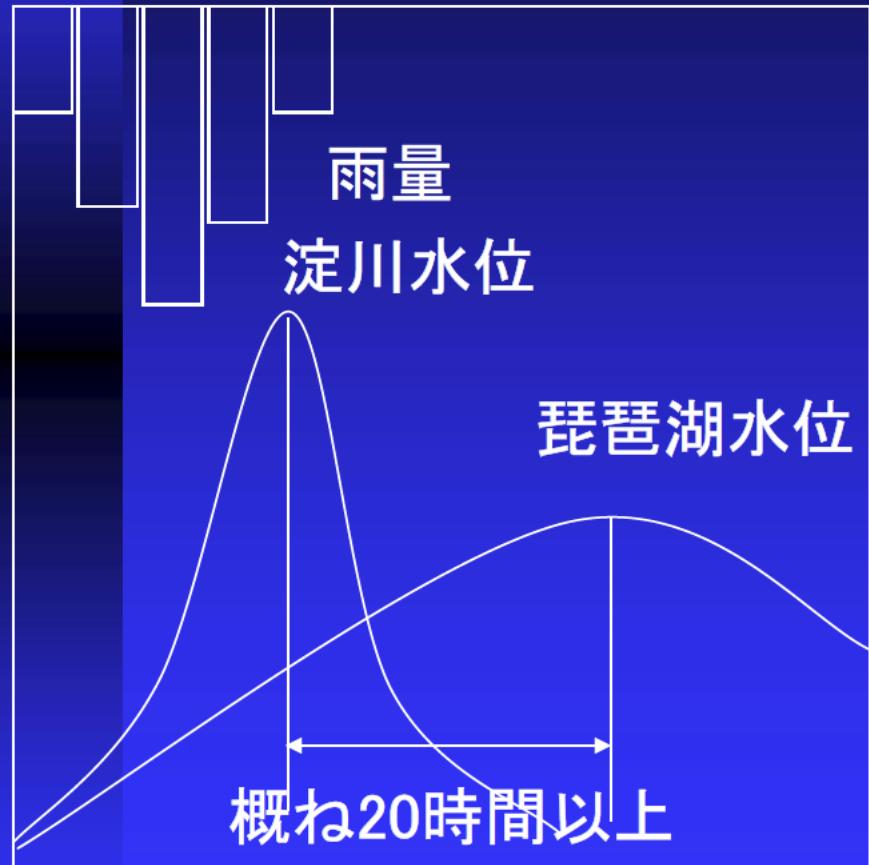
天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果及び
下流の破堤対策の進捗を踏まえて
河道掘削を実施

河道掘削の必要性

- 宇治川洪水時、溢水頻度を少なくする
- 宇治川、淀川の洪水後
琵琶湖の水位をできるだけ下げるため、
琵琶湖からの放流量を増大させる

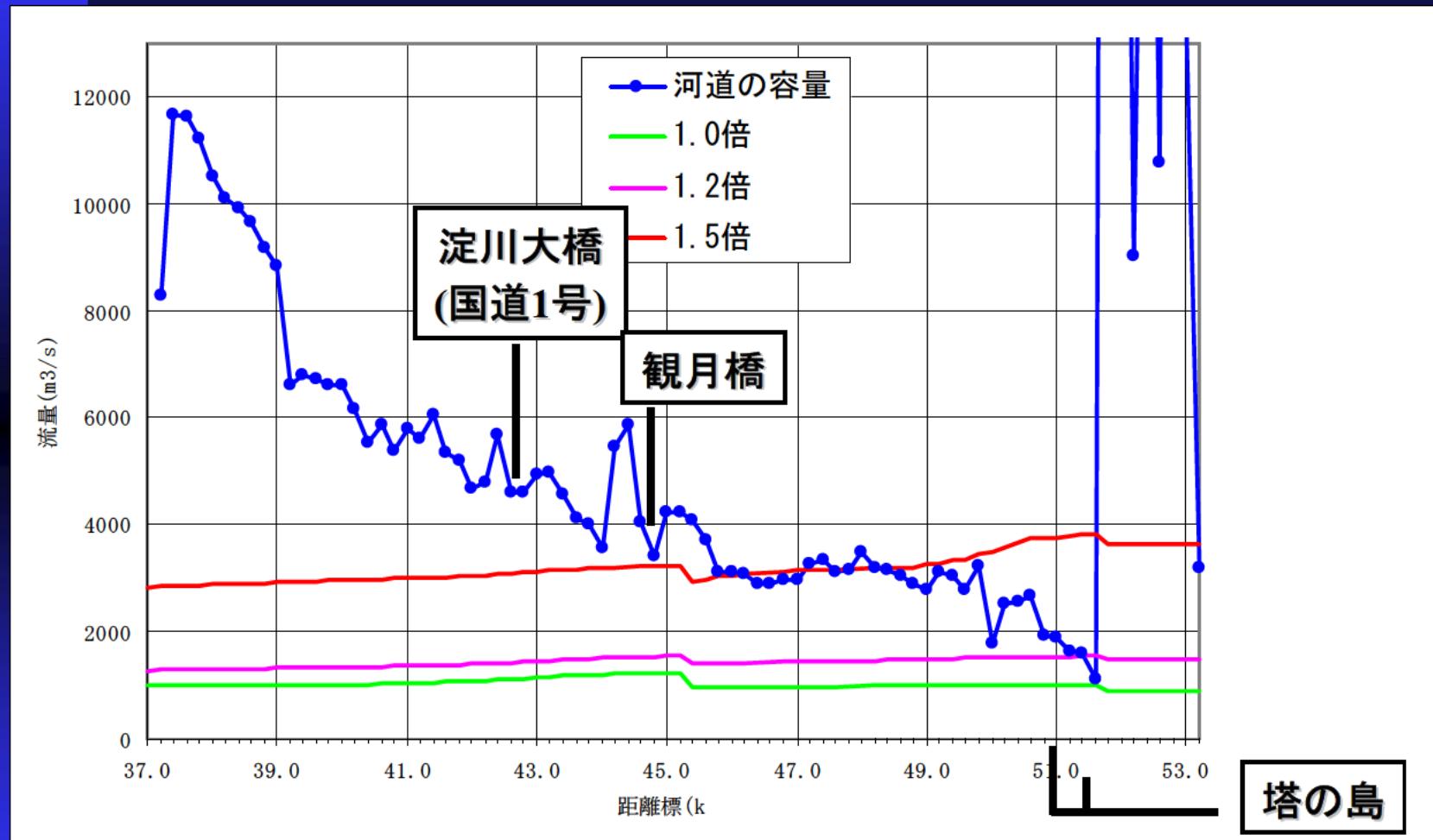
琵琶湖後期放流

琵琶湖と淀川・宇治川の洪水には時差があります。



琵琶湖は大きいので、水位上昇はゆるやかです。下流淀川の水位がピークを過ぎ、減り始めてから琵琶湖の水位がピークとなります。

塔の島は宇治川でもっとも溢れやすい地区

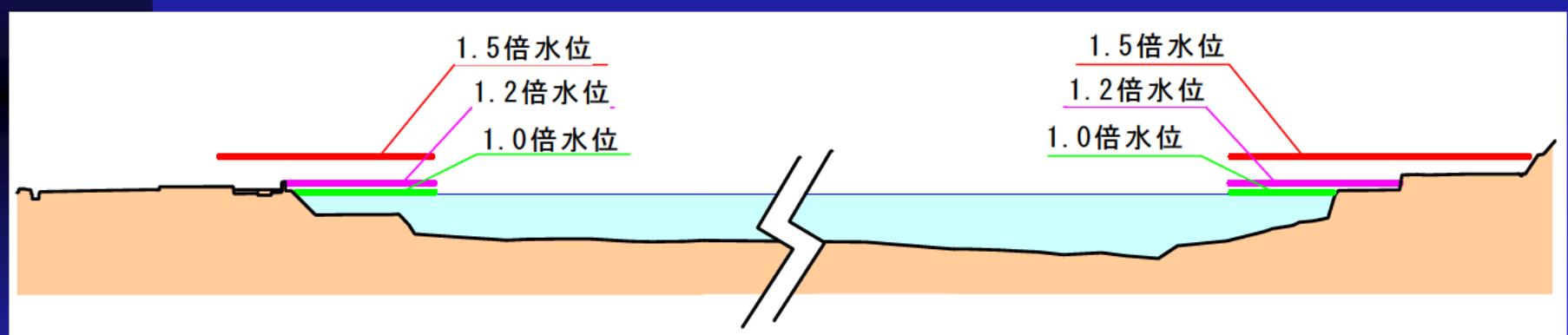


※河道の容量は、堤防が破堤しないものと推定しており、安全に流下できる流量を表していません。

塔の島地区 51.6kp



塔の島地区 横断図 51.6kp



1500m³/s 河道

○塔の島地区の浸水頻度をできるだけ
少なくしたい

- ・下流の安全度
- ・景観
- ・鵜飼
- ・生態系

塔の島地区改修経緯

- ・S48年10月 宇治橋付近景観保全対策協議会設置
(宇治川改修と景観の調和、宇治橋架替、景観保全に関する事項協議)
 - ・S52年 3月 宇治橋付近景観保全対策協議会より答申書提示
 - ・S53年11月 宇治市長より宇治川改修計画に関する意見書提示
- 以降、答申書、意見書を踏まえ、宇治川改修工事の実施
- ・H12年 塔の島河川整備計画検討委員会設立(全面公開)
(宇治川改修に伴う亀石対策など環境面、景観面への配慮事項協議)

宇治川改修計画に対する意見書

「S53.11 宇治市」

目的

○宇治市と治水

市民の生命・財産を守ることは本市の緊急なる責務であり、治水対策促進を希求するところ

○景観保全

◇できるだけ現状を保存していく考え方たち、治水上必要な以外は極力現状を残すこと

◇新たに建設する工作物等においても、できうるかぎり風致を損なわないものとする

○河川改修と自然保護

◇改修工事には十分な調査・対策を行い、できうるかぎり自然を残すこと

宇治川 塔の島地区 河川整備検討委員会

目的

- 塔の島地区の河川整備について、景観及び自然環境・生態系の保全等河川環境に配慮し、段階的な改修計画を策定するための検討

区分	氏名	所属等
河川工学	芦田 和男	(財)河川環境管理財団研究顧問 京都大学名誉教授
生態学	紀平 肇	関西大学講師
歴史学	若原 英式	京都府文化財保護指導員
宇治市	堂端 明雄	宇治市助役
観光協会	中村 英一	(社)宇治市観光協会会长
商工会議所	中川 恵次	宇治商工会議所会頭
市民代表	通円 亮太郎	菟道会副会長
	辻本 康	川東地域都市計画事業連絡協議会会长
	吉田 秀子	UJIあさぎり未来塾一期生 (元宇治市女性センター検討委員会市民委員)

- 第1回H12.8.9 第2回H12.11.17 第3回H13.3.16
計3回開催

掘削平面

- 河道掘削について 平均1. 1m掘削とする
なお、河道変動等に十分留意すべきである
- ナカセコカワニナ等の生態系保全のため、河岸付近を緩勾配にするなど、生態系に保全に配慮した断面とする。

